

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.168

銀行や携帯電話会社を装うメールにご注意を

【見分けがつかない偽サイトで情報が奪われる】

銀行や携帯電話会社、カード会社からの「お知らせ」のふりをして、「決済が不正利用の可能性」「情報確認のため」などのメッセージとともにホームページのアドレス(URL)が付いたショートメッセージやメールを受け取ったことはありませんか。URLを押すと、本物そっくりの偽サイトへ誘導されます。そこでクレジットカードの番号やアカウントのID、パスワード等の個人情報を入力すると情報を盗み取られ、不正利用やアカウントが乗っ取られるなどの恐れがあります。

上記の会社等がメールでパスワードや個人情報の入力を求めることはありません。会社等へ問い合わせるときは、検索サイトで調べた公式ホームページを利用しましょう。そして、クレジットカードの利用明細や銀行の口座は、こまめに確認するようにしましょう。

【被害に遭わないためのアドバイス】

- ①不審・不明なメールは開かない(無視する)
- ②URLを押さない(URLを信用しない)
- ③個人情報の入力、不審なアプリ等はインストールしない
- ④迷惑メールフィルターを設定する

あぐりコラム 6

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



福祉サービス事業所が繁忙期の農作業を受託

農業の担い手不足を解決する「農福連携」

農業分野でも高齢化と人手不足は深刻な課題です。その課題解決の一つとして、「農福連携」が注目されています。

農福連携とは、担い手の高齢化や減少が続く農業分野と、障害者や高齢者などの働く場所を求める福祉分野が連携することで、双方の課題解決を図る取り組みです。西脇市でも平成29年度から特産品の金ゴマ栽培にかかる農作業を通じて、西脇市版の農福連携の検証等を行っています。取り組み開始から3年を迎え、障害者福祉サービス事業所が地元農家から農作業を受託できる体制づくりが、次第に整ってきています。

農業は収穫など、一時的に多くの人手が必要な時期があります。繁忙期に対応できる人材を確保することで農家の負担を軽減し、適期に新鮮で良質な農産物等を出荷することができます。また、さまざまな理由で活躍の場を求める方の自立した生活への一歩として、農業が就労の場となり、社会参加と地域農業への貢献につながっています。



絵画教室では西脇高校と西脇工業高校の美術部員らが子どもたちを指導

「夏休みの宿題をやっつけよう！」がみらいえや市内の公民館、コミセンで実施され、4年目になりました。「認定NPO法人みなみ会」さんにご協力いただき、教職員OBの方々、帰省している地元の大学生や兵庫教育大学の皆さんが指導スタッフとして参加指導する宿題のメニューも読書感想文や工作教室を「特別版」として実施していました。が、受付開始時には電話が殺到するほど。今年からは「絵

画教室」もメニューに加わり、これにも申込者数は定員を大幅にオーバーする人気ぶりでした。一昨年から、地元の高校生も加わってくれました。出身中学の地元公民館などに行くと後輩の小学生に宿題を教えてくれたり、「絵画教室」では西脇高校と西脇工業高校の美術部の生徒が指導スタッフとして加わり、小学生の指導支援に当たってくれました。教室で小学生と高校生が関わる姿を見て、大変ほほ笑ましく思いました。小学生が地域の方や大学生、高校生とともに宿題を「仕上げ」喜びや達成感、ともに大きく自信になり、自分たちも大きくなったら、地域や地域の子どもたちに関わろうという意識付けができるのではないかと期待しています。若者が誇れる「元気なまち西脇市」を皆さんとともに創ってまいります。



市長からの手紙

68

西脇市長 片山 象三

西脇を元気に!!

地域(まち)が未来(子どもたち)を育む



▲改修工事が完了した西脇小学校の木造校舎3棟(左から)

好きです!! にしわき わたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

県重要建造物の学びやを見学しませんか

— 西脇小学校 木造校舎保存改修工事が完了 —

兵庫県景観形成重要建造物に指定され、築80年以上が経過する西脇小学校の3棟の木造校舎。歴史的価値を残しながら今後も校舎として利用するため、平成29年から保存改修工事を実施し、今年8月に工事が完了しました。

竣工内覧会へお越しください

保存改修工事では建設当初の意匠を継承し、耐震補強やバリアフリー化を行いました。より安全・安心な学習環境が整った木造校舎を、ぜひご覧ください。

◆とき 9月15日(日)午後2時30分～3時30分(午後2時受付開始)

◆集合場所 西脇小学校南棟玄関前

◆申込方法 9月10日(火)までに電話で左記へ

◆持ち物 上履き

◆申込み・問合せ 教育総務課(市役所内線532)

◆保存改修工事のこれまで

◆歴史・文化を現代に伝える

◆木造校舎

平成元年には建具や階段など建設当初の姿を残しながら大規模工事を実施。木造校舎として現在も使用しているのは極めて珍しいといわれ、西脇市のシンボルとして歴史・文化を現代に伝える貴重な財産となっています。

保存改修工事に至る背景

校舎は老朽化の進行、耐震強度不足等の問題がありました。改修か建て替えかを検討する中、施設整備の方針等を定める「西脇市立西脇小学校校舎基本計画検討委員会」は、さまざまな視点から度重なる協議を実施。同委員会からの「保存改修を行い、引き続き校舎として利用すべき」との答申を尊重し、校舎は保存改修を行うこととなりました。その後、神戸大学大学院人文学研究科と連携協定を締結して調査・研究を行い、市は策定された実施設計に基づいて保存改修工事を行いました。

心のスケッチ

126

人権教育課コラム

身近に当たり前にあった 祖父母の手

「将来あなたはどんな手になりたいですか」。以前、このような質問をされたことがあります。あなたなら、どのように答えますか。私は祖母のようになりたいと答えました。

戦前生まれの祖父母は社会が激動する時代を一生懸命に働きながら、私の父と叔母を育てました。晴れの日は外で仕事。雨の日は家で作業。大工の祖父の手は日に焼けて黒く、たができてゴツゴツ。日々の炊事や洗濯、畑仕事をする祖母の手は、節が太くしわくちゃ。冬は霜焼けであかざれになり、真っ赤な手です。そんな手で祖父母は孫の私にたくさんのお話をしてくれました。軽トラや単車に乗って、共働きの両親に代わって保育園や幼稚園の送り迎えをし、帰宅した後は一緒に折り紙やあやとりで遊んでくれました。小学生になると学校からおなかをすかせて帰る私に、祖母は甘いあんこのおはぎや畑で育てたサツマイモを使って大学いもを、料理が得意でない祖父は器用に道具

を使いながら、まん丸で一口大のおにぎりを作ってくれ、涙が出そうなくらいおいしかったことを覚えています。その中でも、私は二人から頭をなでてもらったり抱き締めてもらったりしたことが何よりも大好きでした。とてもうれしく心が温かくなり、いつも必ず笑みがこぼれました。小柄な祖父母ですが、二人の手は大きく、私の全てを受け入れ、優しく包んでくれました。私はその手に甘えてばかり。いつでも身近に当たり前にあると思っていました。今では祖父母も年を取り、不自由になる手。大きく温かかった手は、白く、細く、柔らかくなっています。最近私たちが家族だけでなく、看護師や介護士、地域のたくさんの方の手が、祖父母の手となって支えてくれています。9月16日は敬老の日です。この機会に、祖父母にいつか二人のように誰かの心を温め、優しさを分け与える、しわくちゃの手になりたいことを伝えたいと思います。(人権教育課)